

庄川中学校 令和4年度 第1学期終業式 式辞

「よーい、どん」

1学期の始業式は、この言葉で始まりました。一年後の「なりたい自分」に出会うためにスタートしたみなさんは、今、どこを走っていますか。ゴールは見えていますか？近いですか？まだまだ遠いですか？

経験のない長い道のりを走るには、時々、チェックポイントがあると安心ではないでしょうか？進む方向は合っているか、走る速さやペース配分はどうか。ちょっとした振り返りがあるだけで、次の一步を自信をもって踏み出すことができるのではないかと思います。

さて、今日は1学期の終わりに当たり、「評価」について話をします。

「すごいね！できたね！」人からこう言われると誰でもうれしいものです。そして、次もがんばろうと思います。つまり、よい評価は人を前向きにします。しかし、そんなときばかりではありません。誰からも評価されなかったり、予想以上に悪い評価だったり、自分はダメなんじゃないかと思うときさえあります。そんなとき私は、「どうして？」が大事だと思っています。

みなさんの手元に届いた通知表には、数字や文字で、1学期の振り返りが書かれています。つまり「評価」です。しかし、そこに書かれているのは、単なる結果だけではありません。そこには、2学期に向けて、こんなところをがんばってほしいという願いもかかれています。ですので、「どうして？」と思った人もいるでしょう。見えないメッセージを読み取るのは、たいへんだと思いますが、日ごろの自分を見つめ直して、伸ばしたいところや、改善したらよいところを見つけてほしいと思います。そし

て、「どうして？」が解決されたとき、踏み出す一步の方向や歩幅が決まります。「評価」は、次の一步を踏み出すための大きなヒントなのではないかと思います。

もう一つ、先日行われた生徒集会。委員会報告を聞いていて驚いたことがありました。1つ目は、報告の内容です。実際に何かを実行しなければ、取組を発表することはできません。委員会は確かに動いていました。感染症対策をとりながらも様々なことに挑戦してくれたこと、学校を活気づけてくれたこと、感謝します。

2つ目は、その活動に対する評価と提案です。評価は、日々の活動を見ていないとできません。執行部のみなさんは、執行部としての仕事ももちながら、それぞれの委員会の活動や全体のバランスに、常に目を向けて進んできたのだと実感しました。それだけではありません。改善点を提案しました。そのおかげで、2学期に委員会が進んでいく方向が少し見えたような気がしました。委員長のみなさん、執行部のこの提案に答えられないわけにはいきません。ぜひ、提案を参考に、一步を踏み出してください。

さあ、長い夏休みが始まります。命を、健康を、あなた自身を大切にしてください。家族、友だち、そして自分を応援してくれる人……。自分を大切に思ってくれる人を大切にできる、そんな夏休みを過ごしてほしいと思います。

9月1日、またみなさんと顔を合わせて2学期をスタートできることを願い、1学期終業式の式辞といたします。